



体験版では、挿絵を一部のみ残し撤去しておりますので、イラスト関連はトップページのサンプルや、ピクシブ等にてご参照宜しくお願い致します。
また、ピクシブではもう少し長めのサンプルを公開しておりますのでそちらも是非！

本編は全五話構成、百二十ページ程あります。

一 青城翔太について

だ！ 僕の名は青城翔太。陵青中学校一年C組、空手部に所属、そして超変態ボディビルダーだ！
僕と僕の環境についてちよつと話しておくか。

改めて僕は青城翔太！超重量級子供ボディビルダー！ケタ外れのムキムキな筋肉に覆われた肉体！
焼き過ぎなほどの黒い肌！常にかいてる汗！

僕の通う陵青中は学ランだが日々マツチョ化するこの肉体は、当然制服も入らなくなるから、学校では上半身裸に学ランを羽織るくらいかな。

でも今はその学ランですらギチギチなんだよな。そんなワケで、キツキツになって肩までしか羽織れない状態だけだな。

下半身は派手ではち切れそうな程の極小ビキニパンツや、ビルパン一丁という変態スタイルだ！脚なんてクラスメートらの胴体並の太さだからズボンなんて入らないんだよ。

でもさ、ビルパンやビキニパンツのみの姿っていうのは、僕にとって「正装」なんだよな！ボディビルダーってそうだろう。真っ黒に焼けた逞しい筋肉体と、派手で小さなビキニパンツを食い込ませた姿！コレ以上の正装はないよな！

あと趣味は、やっぱ限界を超えるほどの筋トレと空手と変態セックス！そしてオトコ。ホモセ！ホモ交尾！やっぱコレだ！

それと害虫だな！ハエやゴキブリも僕にとっては食いモノだ！！挿んでバリバリ食いまくる！なんだって簡単に手に入るからさ！

と言うのも僕のこの臭い肉体には、食料でもあるせいっらがウヨウヨ寄って、体中に這ってくるからな。ハッキリ言って僕より変質・変態・キチガイ性欲欲ってのも、中々いないと思うぞ。

スカトロ汚物性的嗜好。クソガキ年齢のクセに広範囲の変態ハッテン場常連！恋人を殴る蹴るは日常行為のDV野郎！・・・自分で言っちゃうのもアレだけだな。

(中略)

二 黄ばんだブリーフ少年！

(中略)

股を開かせてモッコリと股座に思いつき顔埋めてさ、そこは流也の箆ったブリーフの激臭ゾーンだもんな。

・・まあ・・流也だけじゃないよな。誰だって臭いか、パンツの股座なんてさ。

僕も毎日、いや毎時間だな！流也がカラダ動かして熱気放ったら気づく度、股座ブリーフに顔埋めてるもんな！流也自身も僕が埋めて嗅ぐと、昔は恥ずかしがってたけど、今は嬉しいみたいでさ。

グリグリ埋める顔が電マみたいいな刺激で気持ちいいんだろうな。電マオナニーの直接性感と、最も恥辱的部分を嗅がせてる精神的性感が流也にはたまらないんだろうけどさ！

特に体育後の授業中、ヤンチャっ子な流也は前の席の僕に消しゴム投げて振り向かせると、既にズボン脱いで下半身ブリーフ姿！椅子の上で大股開きで、股座準備OK状態！

まあ流也の汚れたブリーフから、もあゝ・・っつと僕の席まで漂う股臭で呼ばなくても気づくけど。授業中でも構わず流也の席に行つて、

ずっと流也の股座に顔グリグリ埋めて興奮してると、流也もはあはあ興奮してるしさ。

先生の授業の声と、僕の下品なバキューム音。流也の喘ぎが混ざった興奮息。カオスな教室内だ。

汗で湿ったブリーフはそれだけで臭くて、その上、金玉の弾力と勃起して硬くなってる生殖器、グニグニゴリゴリ僕の顔全体をブリーフが・・・
モッコリが密着！エロく刺激して・・・もう、授業なんて関係ないもんな！

気がついたらチャイム鳴ってたりするし。

(中略)

三 ハッテンボディビルジム

さつきちよっと出たけど、このジムの話な。

僕には「佐野倉 琢」という二十一才の従兄弟がいてそいつが経営するココ、ボディビル専門育成ジムと一緒に住んでる。当然恋人の流也も一緒だ。同棲同居ってコトだ。

ジム内では、上着は当然トランクスや短パン。スパッツ等の着用は禁止！上半身裸！ビルパンやビキニパンツ、六尺褌や競パン、ブリーフ着用規則！まあケツ割れや、生殖器丸出しの裸でもOKだけどな！

要は腰幅部分が細く、食い込みが凄く、モッコリが目立ちすぎるパンツを穿けてコト。

(中略)

さっき話したパーソナル。流也とのエロトレとか当然色々豊富なエロトレがあるけど、人気で中心的なメニユーは・・・そうだな。ざっと上げると・・・

- ・顔面騎乗フアックベンチプレス
- ・デーパーキスフアック腹筋
- ・ケツ穴鉄アレイスクワット
- ・シツクスナインスクワット
- ・チンポダンベル
- ・尻の穴プロテイン

(中略)

「顔面騎乗フアックベンチプレス」

普通のベンチプレスっていうのは、ベンチに寝てバーベルトレーニングするアレなんだが、まあ、パーソナルの場合は頭元に立ってバーベルを支えたりしてるけど。

コレをウチで行う場合は三人で行うコトになる。ちなみに名前では出てるがベンチ台は使わない。

構成は、ベンチ代わりに勃起した生殖器を突き立てて、上下激しくピストンスクワット兼ハードフアックするヤツを置き、そのおっ勃てた生殖器を尻の穴に突っ込んで、ズボズボグボグポ突き上げられながらバーベル運動するヤツ。

「よし！流也！始めるぞ！」

僕らはいつも通り腕と腕をガシッと合わせてガッツポーズ！

「おう！喜んで！よし！全員鉄アレイを首にかける！」

そう、ウォーミングアップ中は五キロの鉄アレイを首にかけて鍛えるワケだ。

「まずは腕立て伏せ！俺に続けえ！全員カウントお！」

副将の流也が素早くガバッと地面に伏せると、部員全員も腕立てスタイルに伏せ、即座に腕立てを開始する！

ちなみに流也はみんなと違って、「片手」腕立て伏せのハードトレーニングだ！

僕も腕組みがら、流也・部員と共にカウントをする。「百！」「百一！」カウントが増えるにつれ

部員らも苦痛の表情と声になっていく・・・！

これだよな！この鍛え抜く禪部員ら！汗が滝のように止まらない部員ら！

ジムと違って、動きが止まったら最初から・・・というのは時間が限られてる為無いが、倒れたら部活中、部員ら全員のサンドバッグとなるため、へばるわけにはいかないよな！

倒

とは言え、そろそろみんなの気力も落ちてきてるな・・・！必死にやっても崩れてのトレーニングは意味ないからな！ここで一発、気付け薬投入といくか！

「そら！全員気合い入れろ！へばるなよお？」

僕は腕を上げ腋を全開させると、凄まじいワキガが一瞬にして一帯に充満し始める！つかああああ我ながらこれはキクよな！腐った牛乳やら目に刺激与えるような、酸っぱい刺激臭やらの凄いこの刺激臭は、覚醒剤よりも強烈にキクぜ！

「もつと臭くしてやるぞおお！ほらほらほらあ！」

(中略)

「流也！僕の背中に乗れ！」

「おう！喜んで！」

腕立て伏せしてる最中の僕の背中に乗る汗臭い流也。うほおお！禪越しのモッコリ感触！金玉感触！股座の熱さ！汗の湿り気！

そしてズシ・・・！つと五十キロ以上の重さが加わる・・・！これだ！人間の重さが一番だ・・・！

でも・・・さすが流也だ・・・また一段と重くなってる・・・！

「流也！また重くなつたなあ！」

「へっへー！分かるか？俺、入学ン時より五キロは増えたんだぜ！」

「上等上等！もっと太く遅しくなれよ！いくぞ！」

サンプル版は以上となります。



挿絵イラストは 全部で

24枚となっています！